

富士川中流域 アユを育む・清流プロジェクト

第三回検討会

資料－1 令和5年度の活動報告

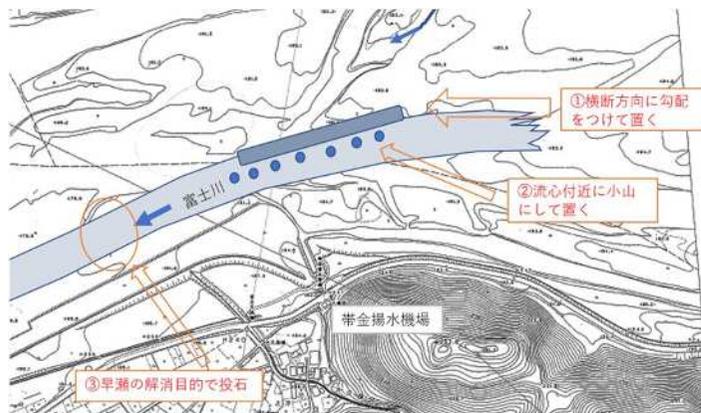
令和6年3月22日

富士川における調査・対策

(国土交通省)

- < 流量調査 > 経年的に大きな変動は見られない。
- < 水質BOD調査 > 概ね環境基準以下で推移している。
- < 水質DO調査 > **10mg/L**前後で推移し安定している。
- < 水質SS調査 > 平水時は環境基準を満たしている。
- < 水質pH調査 > 経年的に大きな変動は見られない。
- < 水温調査 > 経年的に大きな変動は見られないが、甲府盆地南側は最高水温が高い傾向にあった。一方、富士川の南部橋、北松野、富士川橋は上流と比較して水温が低い傾向にあった。
- < 環境DNA調査 > 調査の結果、富士川の河口部から釜無川の信玄橋、笛吹川の鵜飼橋まで連続してアユが確認された。

< 対策報告 > 大石の配置による緩流環境の創出

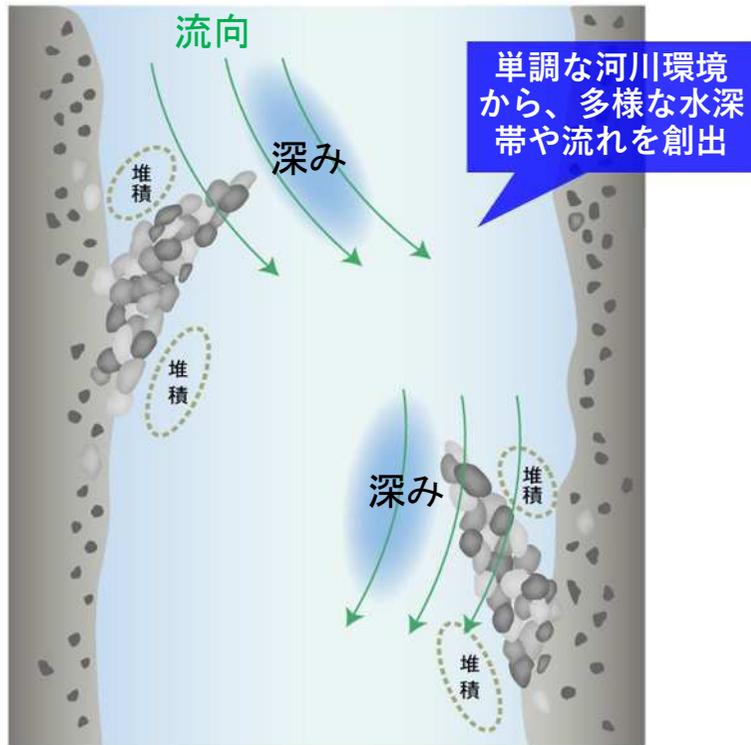


早川における調査・対策

(山梨県)

- <河川物理環境調査> 水温、水深、流速はアユの生息環境を概ね満足している。
- <アユ生息実態調査> 早川橋上流でアユの生息を確認。
- <アユの餌環境調査> 餌資源である付着藻類は確認できたが、一般河川と比較して少ない事を確認。

<対策報告> 「浚渫で発生した巨石」を活用したバープエ[※]の施工や巨石を配置した。



※バープエとは・・・河岸から上流側に突き出した水制工のような構造物。

早川における関係者意見交換（R5.12.4 実施）

（山梨県）

- ・ 巨石を活用した環境配慮に際し、専門家や関係機関を交えた現地意見交換を実施。
- ・ 施工イメージ、期待される効果、施工時のポイント等を現地で共有、意見交換を実施。

【挙げられた主な意見】

- ・ 早川の岩肌にみられる藻類は、砂を含んでいるように見える。これはアユは好まない。
- ・ 魚類生息環境の創出のため、バーブ工のような取組はぜひ実施してもらいたい。ただし、出水への対策（流出防止）が必要となるだろう。

河川美化活動等について

(早川町、身延町、南部町)

- 河川美化活動（早川町）
 - R5.4月下旬 空き缶拾い
 - R5.7月下旬 除草
 - R5.8月上旬 空き缶拾い
- 河川美化活動（身延町）
 - R5.6月下旬 町内美化活動
 - R5.11月下旬 富士川クリーン活動
 - 自然環境監視員による不法投棄の監視
- 河川美化活動（南部町）
 - R5.5月 釣り大会（漁協との連携事業）
 - R5.7月 除草
 - R5.8月 美化活動



■ アユ関係調査

- ・ 遡上魚類調査

■ 魚道の維持管理

- ・ 魚道上流部の瀬替え作業

■ 河川環境の美化活動

- ・ 早川町、身延町、南部町と協同による河川清掃及び除草作業